

会議録【要点筆記】

会議名称	第4回 米沢市教育振興基本計画検討委員会	
開催日時	令和8年2月16日(月) 13時25分～14時45分	
開催場所	置賜総合文化センター2階 203 研修室	
出席者	(委員等氏名)	(所属団体等)
	委員長 山口 玲子	米沢市小学校長会会長/米沢市立興譲小学校長
	委員 土田 知良	米沢市中学校長会/米沢市立第二中学校長
	委員 吉田 直史	米沢市内高等学校長会/山形県立米沢興譲館高等学校長
	委員 西辻 祥太郎	山形大学工学部准教授
	委員 高梨 弘子	米沢市私立幼稚園・認定こども園連合会
	委員 宇山 栄一	米沢市社会教育委員・米沢市公民館運営審議会委員長
	委員 佐藤 美洋	米沢市PTA連合会会長
	委員 佐藤 繁	米沢市芸術文化協会会長
	委員 曾根 伸之	米沢市上杉博物館館長
	委員 大河原 真樹	米沢市スポーツ協会副会長
	委員 遠藤 正紀	米沢商工会議所青年部
	委員 安部 剛	米沢市民生委員・児童委員連合協議会
	委員 舟山 康子	公募委員
欠席者	委員 石崎 毅	山形県立米沢女子短期大学教授
事務局出席者	教育長、教育管理部長、教育指導部長、教育総務課長、社会教育文化課長、スポーツ課長、学校教育課長、適正規模・適正配置推進主幹、教育総務課長補佐兼総務主査、教育総務課上席専門員、教育総務課主任(総務担当)	
会議次第	1 開会 2 協議 (1) 第2期米沢市教育振興基本計画(案)に係るパブリック・コメントの結果について (2) その他 3 委員の皆様からひとこと 4 教育長あいさつ 5 その他 6 閉会	
会議資料	・次第 ・出席者名簿 ・第2期米沢市教育振興基本計画(案)に係るパブリック・コメントの結果	
会議内容		
【1 開会】 省略 【2 協議】 (1) 第2期米沢市教育振興基本計画(案)に係るパブリック・コメントの結果について事務局からパブリック・コメントの結果について説明があった後、委員から下記		

のとおり意見等が出された。

#### 委員長

- ・事務局からパブリック・コメントの結果について説明があったが、皆様から御質問・御意見などあれば伺いたい。

#### 委員

- ・9番の意見の中に「行政としてもしっかりとサポートいただく体制づくりを望みます。」とある。それに対して、財政支援を行うという回答内容になっているが、この意見は、行政がどのように関わるのかを聞いているのではないか。例えば、地域クラブに移行して何か問題が発生した場合に市はどのように関わるのかなど、今後どうなっていくのかを聞いていると思う。

#### 事務局

- ・財政支援をすることを具体例として記載した。それ以外にも、クラブの認定制度を運用し、クラブの実態がどうあるのかを把握した上で支援する。また、指導者の講習会も行い、クラブに任せきりではなく、行政も一緒にクラブをつくっていくので、そのような点を追加して回答を修正する。

#### 委員

- ・委員のご質問は、多くの親御さんの不安を代表しておっしゃっていることなので、市としてきちんと指導するという点をはっきり言っていた方がいい。

#### 委員

- ・市長事務部局への事務の移管に伴って、クラブの認定についても移管することになるのか。どこで責任を持つのかという点を明記していただきたい。

#### 事務局

- ・現在、クラブ設立の手引きやクラブ活動の方針などを策定しており、行政の関わりなども分かりやすく記載すべきと思っている。
- ・どこが主管になるかという点については、新設の観光文化スポーツ部に、部活動の地域展開に関する事務がすべて移管するわけではなく、教育委員会と市長事務部局とで一緒に行っていく。教育委員会と観光文化スポーツ部とで連携を密にして、子ども達のために、クラブ活動ができるように取り組んでいく。

#### 委員長

- ・部活動、地域クラブの活動について、今のような内容を書き加えていただく。他にいかがか。

#### 委員

- ・議会の意見1番の回答に関して、これからは、市民の各世代の皆さんに「レジリエンス」を周知していくことが大事だと考える。回答に記載されている、「がってしない」には、「レジリエンス」の意味が込められていることや、国の教育振興基本計画のコンセプトと合致するということが大事なことだと感じた。

#### 委員

- ・議会の意見2番の回答にSTEAM教育の注釈があるが、工学及び芸術の英語表記について修正が必要ではないか。

#### 事務局

- ・御指摘のとおり修正を行う。

#### 委員

- ・10番の意見の回答に、「令和8年度から中学校の屋内運動場に空調設備を設置するため、令和8年度に設計業務を行う予定」とあるが、小学校はどうなるのか。

#### 事務局

- ・まず中学校の屋内運動場を先行させ、同時に、小学校の特別教室も設計業務に入る予定である。小学校の屋内運動場は、今回の設計業務には含まれないが、今後状況を見ながらになる。

#### 委員

- ・小学校にもスポットクーラーを設置いただいたが、屋内運動場すべてを冷やすことはできない。小学生は、中学生と比較して体力もないので、冷房の完備について検討いただきたい。

#### 事務局

- ・すべての小中学校を一気に進めることは、財政上難しいので、なるべく早い段階で取り組めるようにとは考えている。

#### (2) その他

##### 省略

#### 【3 委員の皆さまからひとこと】

検討委員会を振り返って、今後の米沢市の教育や人づくりに対する願い・想いを皆様からひとことずつ頂戴した。各委員の発言は次のとおり。

#### 委員

- ・学校現場でこれから何をしていくのかを考えたとき、社会を生き抜くたくましい力を持った子ども達の育成がクローズアップされるが、その力を全員が本当に持つことができるだろうか考える。併せて、それだけを持っていけばいいのか、ということも学校現場では考える。具体的には、自らの力でぐんぐん進む力も大切であるが、他者の痛み、傷を感じながら寄り添うことができる、共に伴走して歩むことができる、そんな子ども達の育成も考えていかなければならないと思っている。
- ・社会を生き抜く力を持ってない子どもがだめということではなく、広く、大きく、一人ひとりの子ども達を大切にしながら育てていきたいということを感じさせる文章が第2期米沢市教育振興基本計画の中にあるのではないかと見させていただいた。中学校現場で実現できるように努めて参りたい。

#### 委員

- ・これからのこの地域の教育の設計図という意味で、非常にクオリティの高い教育振興基本計画に仕上がっているのではないかと思います。米沢市の計画ではあるが、教員相互の交流や、高校の場合、より広域的に生徒が集まることを考えたとき、一つの市の教育振興基本計画にとどまらない大きな影響力を持つものだと思っている。周辺自治体との横の連携も大切になってくるのではないかとと思っている。
- ・義務教育段階での教育をイメージした計画ではあるが、高校教育に携わる立場からも、意義や目的をしっかりと理解して、中高がスムーズに連携されるように、横の連携とともに縦の連携もこれからますます大事になると思う。
- ・今後は、第2期米沢市教育振興基本計画を現場でいかに実践していくのかが大きな課題であり、目標である。地域及び社会全体の大きな課題として、少子高齢化、情

報化、多様性、国際化といった様々な課題があり、それらが学校教育のキャパを超えて、カリキュラムに押し寄せてきている現状が高校教育にもある。そういった中で余裕を持って新しい考え方や取り組みに向き合っていくことが難しいのが現状であることから、具体的なロードマップや、現場の教員の意識改革あるいは負担の軽減という視点も大切にさせていただきながらこの計画を進めていただきたい。

#### 委員

- ・山形大学工学部は米沢にあるので、皆さんに来ていただける魅力ある大学にしたい。特に高校と大学との連携を行い、地元の方に来ていただける努力をしていきたい。米沢に残って、産業などで地元へ貢献できる学生が育てばよいと考えている。市と大学とで連携して、米沢の教育を良くしていきたい。

#### 委員

- ・基本理念に「しあわせが循環する米沢」という言葉があり、大変温かみを感じ、様々な学びを通して人と人がつながり合うことを大切にしたいという願いが込められていると感じた。
- ・基本方針4に「ふるさとを愛し、歴史と文化から未来を創る人づくり」とあり、歴史のまちとして上杉家の歴史などを大切にしている米沢らしきも出ている。上杉家廟所などに足を運ぶ小中学生も多く、歴史を学ぶことで、次の世代にその大切さを伝え、どんどんつながっていくことも素晴らしいと思う。上杉博物館も大変素晴らしい施設であり、観光客だけではなく、地元の方にもっと利用してほしい。市内のお寺にも上杉家に由来するところは多く、身近に歴史を学べる場所が多いと思うので、人と人がつながり合って学ぶ場所として、お寺ももう少し開いていくのがよいのではないか。
- ・基本方針2は「多様性を認め合い、共に学び合う人づくり」とある。特に幼児期に様々な人と関わる経験が土台となって成長し、多様性を認めて、共に生活できる力につながっていくと思う。そのような意味で、小さい頃から様々な人との関わりが大変重要であるが、多様なお子さんをスムーズに受け入れることができる教育現場の体制がまだまだ整っていないのが現状である。特に、障がいのあるお子さんや特別に支援が必要なお子さんは、今後ますます増えると思うが、全員の受入れには人材の確保や補助の面で、現場には大変な状況が多くある。第2期米沢市教育振興基本計画には、学校不適応児童生徒への支援が課題という記載があるが、幼稚園・保育所・認定こども園で生き生きとしていた子どもが、小学校に入学したら登校できなくなったという話は、認定こども園としても聞いている。幼保こ小やそれ以降の接続期教育のあり方、互いの連携の仕方など、米沢市としてもう少し踏み込んで考えていかなければならないと感じる。課題についてももしっかり向き合い、教育や保育の現場の実情をよく見ていただきながら、一つひとつ解決していただきたい。

#### 委員

- ・目覚ましく技術が進歩し、世の中がグローバル化、情報化、そしてAIやインターネットなど、情報過多な私たちの周りでは、価値感の多様化が本当に大きな課題になっている。このような複雑化した中で、「しあわせが循環する米沢」を目指すことはとても大事なことだと思う。特にその中でも、社会全体で学び続けることを、ぜひ続けていきたいと思っている。

- ・社会教育には、学びを通じて人と人をつなぎ、人のつながりを強めていく役割がある。私たちが社会生活を営む上では、環境問題、食料問題、人権問題、共生社会の実現といった、現代的な課題に取り組んでいかなければならない。こうした課題について、学ぶだけではなく、人と人とのつながりを深めることによって、身近な人がしあわせな気持ちになり、自らも「大切な人をしあわせにしている」と思うようになる。そうすることが、安定した日々を送ることにつながり、「しあわせの循環」になっていくと思う。
- ・米沢には、歴史や伝統、豊かな自然といった物的資産がたくさんある。また、山形大学をはじめとする大学の先生方や、知見豊かな人材が大勢いらっしゃるのので、今後もこのような方々のお力をぜひお借りしたい。
- ・パブリック・コメントで、歴史を学ぶ意味についての意見があった。私は、小さいときに学ぶ歴史と、大人になって学ぶ歴史は違うと思っている。小さいときに、米沢にはこんなものがあった、こんな歴史的な人がいたということを学ぶ。大人になって学び直すと、このような世の中を大人としてどのように創るかを考える。これはまさに社会教育である。
- ・急激に変化する社会に生きる子ども達は、ICTを活用した学習が進んでいく。基礎的な知識、技術を身に付けるだけではなく、様々な人と関わることで、自分の存在が認められたり、一人ひとりの活動が身近な地域や社会生活に影響を与えていることを知り、社会づくりを意欲的に担う人材になってほしい。

#### 委員

- ・地域の循環という面而言えば、学校、社会、そして家庭がある。どんどん教育が変わっていく中で、家庭教育が取り残されないために何を行うとよいか考えたとき、情報発信をしていかなければならないと感じた。
- ・家庭教育がこうあるべきという答えは出ないが、家庭ごとに環境が違う中で、伝え続けることによって、文化となって、米沢の教育全体の底上げになると考え、PTAとして、できることを行っていきたい。社会、学校と共に歩いていきたい。
- ・今の子ども達がどんな未来を描いているのか、どんな夢を持っているのか、気になっている。来年度のPTA活動で、子ども達が米沢の未来にどんな希望を持っているのか、自分の夢とどうリンクしてくるのか、子ども達と一緒に考えられたら楽しいと思っている。

#### 委員

- ・米沢の文化に関しては、他市町村から文化水準が高いとうらやましがられる現状にある。それは、施設や様々な機会、関係する方々のレベルの高さ、教育における文化活動への支援といったものがあるからだと思う。今後も、第2期米沢市教育振興基本計画を大事にして推進していきたい。また、芸術文化協会としてもサポートしていきたい。
- ・学生や若者に関しては、いわゆる文化部や文化支援がまだまだ充実しているとは言えないことを考えると、社会活動や教育活動の中に若者達が活動しやすい体制の推進を今後ますます図るべきだと考える。それが、人生100年時代において、人生を豊かにするための継続した学びにつながる。そして、ウェルビーイングの確立、充実した人生を過ごすための道筋になる。その際、これからの時代、SNSやデジタ

ル技術の活用を積極的に行い、時間や場所に縛られない学びの場の提供も必要である。

- ・文化及びスポーツ関係が、来年度から市長事務部局に移管されるので、この計画を念頭に置いた上で、教育とのスムーズな連携が図られることを願っている。

#### 委員

- ・この度の米沢市教育振興基本計画の中で、15 ページの基本方針 4 に最も共感を覚えている。「地域の課題に向き合い、ふるさとの未来を見据えながら、新しい地域社会をつくる人材を育てます。」と結んでいるが、そのためには、ふるさとを愛し歴史と文化を学ぶ必要があり、いわゆる「米沢らしさ」や「がってしない」ことが基盤になっているのだと思う。関係の皆様方には、様々なところでこの度の米沢市教育振興基本計画にこのような理念があることを、児童生徒の親世代にもお知らせいただけるようであれば幸いである。子ども達が、親御さんと一緒に、地域の歴史や文化を学び成長していくような機会が広がれば素晴らしいと思う。
- ・長年高校の教員として、どうすると地域に残る人材を育てることができるのか、また、高校生が胸を張って、米沢や置賜の高校で学んだと言ってくれるのか、やがて戻ってきてくれるのか、ということを常に考えてきた。計画に記載があるような価値観を、帰属意識に変えて、そして、外からも内からも、いろんな人に承認される、そういう場をたくさん設けることで、市民のアイデンティティが育つのではないかと思う。

#### 委員

- ・上杉雪灯籠まつりで西尾市の方と交流した際、上杉家御当主には、西尾市にも多く交流に来ていただいたと話されており、上杉文化の継承は大事だと感じた。
- ・1月にテレビで取り上げられてた明星保育園の様子を見て、教育に関係する方のお人柄が教育を前に進めていくのだとつくづく思った。そういう意味では、第2期米沢市教育振興基本計画を、教育に関わる多くの方に熟読していただきたい。
- ・パブリック・コメントで第一中と第七中の統合についての意見があった。適正規模・適正配置の最も大事な理念は、教員の配置である。中学校であればある程度の学級数にならなければ9教科の先生がそろわないため、学級数が少ないと、例えば、音楽の教員免許を持たない教員が音楽を教えるということになる。第一中と第七中の統合を遅らせることが本当に公平なのかどうか、本来の適正規模・適正配置の意味をよく考えていただきながら、これから統合を進めていただきたい。

#### 委員

- ・歴史を学ぶ意味について多くの委員からお話があった。私もとても大事と考えており、小さい頃に学ぶ意味が何かというと、自分の郷土はどういう場所かということをしっかり理解するのは、自分のアイデンティティにも関わる問題だと思う。アイデンティティの形成において、どのようなまちで育ったのか、そのまちがどのような歴史・文化を持っているのか、先人たちが何を紡いできたのかといったことをベースに学習することは非常に大事なことであり、将来米沢に戻って来る、あるいは外で活躍するにあたって、米沢というまちの良さをいろいろな方に伝えたりできるということがあると思う。
- ・基本方針で大事になってくるのは、2の「多様性を認め合い、共に学び合う人づく

り」であり、多様性は、人権の観点からも大事である。昨今、世界的に多様性をめぐる問題は様々出ている。子ども達はフラットなので、多様性を受け入れるという点は優れていると思うが、より深めたり、持ち続けたりするためには、基本方針2は非常に重要になってくる。

- ・地方と都市部とでは、教育環境の格差があることも現実として受け止めざるを得ない。その中で、米沢らしさを持った人材、米沢が誇る素晴らしい人材育成を行っていかねばならないことから、現場の先生方にかかるプレッシャーは大きくなっていくと思う。ただし、学校現場だけで共有するものではなく、子育て世代を中心に市民全体として、米沢ではこのような基本理念、基本方針を持って教育していくということを多くの市民と共有することが大事になってくる。あるいは、対外的なアピールとして、こういう方針で米沢は教育ができるということをアピールするのもいいと思う。子育て世代が、どのまちで子どもを育てたいか選択するときには大事にするものの一つとして教育環境があり、関心の高いところだと思う。そういう意味でも、第2期米沢市教育振興基本計画を市民全体で共有し、対外的にも自信を持ってお知らせできる取組にしていければとよいと思っている。

#### 委員

- ・民生委員・児童委員として活動しており、学校と地域の連携は、我々の活動の一つの分野だと思う。学校、コミュニティセンター、そして民生委員・児童委員及び主任児童委員の連携が、まだまだだと活動の中で感じている。連携については、私がPTA活動をしていた頃からしきりに言われていたが、実情としては、なかなか進んでいない。
- ・昨年12月に民生委員・児童委員の一斉改選があった。新しい体制で活動が始まっているので、何か地区での相談ごと、子どもに関する相談ごとがあれば、お近くの民生委員・児童委員や主任児童委員にお知らせいただきたい。少しでも力になるよう努力する。

#### 委員

- ・絵本と読書活動を推進する仕事をしており、これから小学校に上がるお子さんがいる保護者の方の前で話す機会があった。そこで、私たちは今、種をまいており、本当に大切なのは、実ではなくて種だということを伝えた。「読書は何につながるのか」と言われることがある。種がすべて芽吹くかどうかは分からないし、種をまいた結果を見ることができないかもしれないが、それでも種をまき続けることが大事だと思って私は仕事をしている。
- ・子ども達に絵本・読書の推進活動をしているときに感じるのは、未来への希望である。絵本のラストは、ほとんどが子ども達に希望を伝えて終わっている。「明日は今日よりもっと良くなる」、「この世界は生きるに値する」ということを伝えて終わる。本はアナログだが、自分でページをめくるという動作は、先端技術と共にいつまでも生き残り続けると思う。世界は、リスクを非常に冷静に計算するとともに、楽観的なものの見方が必要だと思う。本から楽観的な思いを子ども達に伝えることができればよいと思っている。それが、米沢市が目指す「がってしない子ども」にもつながっていくと思う。

#### 委員長

- ・小学校長会の代表として参加したことから、学校時代、生涯学習への基礎づくり、土台づくりとして、小学校は、基礎の学力、読み書き計算といった力と共に、たくさんの生の体験や、直接の関わりが非常に求められる教育現場であると感じている。考えることや、やってみることが楽しいという経験、誰かと一緒に取り組むことの楽しさ、「失敗してもいいんだよ」というところから「がってしない」という部分につなげていく。そして、ふるさとを思う心の土台となる、米沢をまず知ること。小学校では、自分の住んでる地域の学習から始まり、卒業するまでには米沢全体のことも学んでいく。そして中学校で学び返す中で、さらに自分の興味関心を広げていく。その土台となるたくさんの経験を、小学校では大事にしなければならないと改めて感じた。
- ・合わせて、非認知能力という部分で、小学校で大事にしているのは、人との関わりができるような社交性、自分の思いをコントロールできる自制心、目標を持って努力をする実行力といった力である。それらの非認知能力についても、しっかりと育てていかなければならないと改めて感じた。
- ・昨年、雪灯籠まつりについて総合の学習をした学年があり、お祭りに関わる大人に学校に来ていただき、様々な話をしていただいた。表には出ないような仕事についてもお聞きする中で、子ども達は「大人ってかっこいい」という感想を持ったと話しており、そのような子ども達の姿を見て、こういう勉強は大事だと改めて思った。
- ・今年の雪灯籠まつりでは、複数の小学校から、米沢の好きなどを絵に描いた作品を飾っていただいた。その絵をいくつか見ると、米沢のABCを描いたものなどがあり、小学校3年生から学んだ知識が形になって現れていた。また、いろいろな人が手をつないでいるような絵があり、人との関わりが土台になっているのではないかと思った。子どもが米沢の好きなどをどう捉えるのかは、非常に興味深く、じっくりと見てきた。そういった意味で、小学校は、土台づくりをしっかりと行わなければならない、各学校の教職員にも伝えていく役割があると思った。
- ・第2期米沢市教育振興基本計画において、基本理念のそばに、学びと幸せの関係のイメージ図がある。そこに添えられた言葉で、学びにより生じる喜び・幸福が「しあわせ」と記載がある。子ども達には、学ぶことが自分の将来の人生の「しあわせ」につながることを、そして、その「しあわせ」は自分だけではなく、周りの人も「しあわせ」にできる、そんな力につながるということをしっかりと伝えたいと感じた。

#### 【4 教育長あいさつ】

- ・今日の委員の皆様のお話や、今までの検討委員会での意見から、様々な御指導をいただき、私達を力強く支えてくださっていることを心強く、ありがたく思った。これまで委員の皆様からいただいた御意見により、改めて立ち止まって考えたり、新しい視点をいただいたりして、なるほどと思うことが多くあった。おかげさまで、たくさんの方々の思いのこもった、米沢らしい第2期教育振興基本計画ができた。
- ・令和7年度も終盤を迎えているが、今年1年間もたくさんの方があった。国内外の情勢は大きく変わり、地球環境の問題も深刻化しており、何よりICT、科学技術の進歩は凄まじいものがあり、AIについては、私たちの生活に入り込んでいる。そうした状況の中、急激に変わっていく世の中に対応すべく、私たち教育行政も、

常に進んでいかなければならないという思いを強くしている。その一方で、自然への畏敬の念や相手を思いやる優しさ、少々のことではへこたれない粘り強さなど、米沢で培われてきた人間として普遍的な有り様というものは、変わっていかない、変わってはいけないと思っている。

- ・ミラノ・コルティナオリンピックでは、生身の人間の想像を超える力や、仲間と力を合わせてやり遂げることの素晴らしさを見せていただいている。私たちは、先進性と伝統を大切にすることを二項対立ではなく、例えば、力強く前に進むことと多様性を認めて寄り添って進むことなど様々なものを兼ね備えた人間になるべく、学び続けていかなければならないと思っている。そういったことを含めて、この教育振興基本計画をもとに、これからの教育を進めて参りたい。

#### 【5 その他】

省略

#### 【6 閉会】

省略